

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公表番号】特表 2010-525413 (P2010-525413A)

【公表日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2010-029

【出願番号】特願 2010-506259 (P2010-506259)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 B 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 Z

G 0 2 B 3/00

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 B 7/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 20 日 (2011.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

図 2 は、カメラモジュール (1 0 0) の部分断面図であり、集積回路画像取込装置 (I C D) (2 0 0)、P C B (2 0 2)、焦点 / ズーム装置 (2 0 4)、基部 (2 0 6)、及びハウジング (2 0 8) を含む。I C D (2 0 0) は、当業者に公知の方法 (例えば、ワイヤボンディング、リフローはんだ付け等) を用いて P C B (2 0 2) に取り付けられて電氣的に連結される。焦点 / ズーム装置 (2 0 4) は、光学積層体 (2 1 0)、レンズキャリア (2 1 2)、及びアクチュエータ (2 1 4) を含む。光学積層体 (2 1 0) とレンズキャリア (2 1 2) は、光軸 (2 1 6) に沿って同軸上に位置付けられる。光軸 (2 1 6) は、I C D (2 0 0) の画像取込面に対して垂直であり且つ中心付けられている。光学積層体 (2 1 0) は、I C D (2 0 0) 上面に強固に固定されているが、レンズキャリア (2 1 2) は、軸 (2 1 6) に沿って移動可能である。アクチュエータ (2 1 4) は、電子機械装置 (例えば、M E M S、圧電性物質、音声コイル等) であり、電子制御信号に応答して、光学積層体 (2 1 0) に対するレンズキャリア (2 1 2) の位置を決定付けるよう作動する。特に、アクチュエータ (2 1 4) が特定の焦点 / ズーム領域を示す信号を受信する時には、アクチュエータ (2 1 4) は、レンズキャリア (2 1 2) を、光学積層体 (2 1 0) からの該当距離に位置付ける。